

# 山行報告書

山行管理部

有志山行 白山 7月30日～8月2日 L五十嵐 3名

- 7/30 大阪駅 JR 高速バスターミナル 22:20 発 = 金沢駅東口  
05:54 着
- 7/31 金沢駅 06:45 発 = 別当出合 09:15 着 別当出合 出発  
9:35～中飯場 10:30～甚之助避難小屋 13:05～南竜道分岐  
14:00～南竜ケ馬場 14:30～南竜山荘 15:00 着 (泊)
- 8/1 南竜山荘 7:00 (展望コース)～展望台 08:20～白山室堂  
09:50 着 10:20 出発 御前峰 11:15～千蛇ケ池 (お池めぐりと  
花の散策)～室堂 13:50 (泊)
- 8/2 室堂 07:00 出発～黒ボコ岩 07:40～殿ケ池避難小屋  
09:00～別当坂出合 10:40～別当出合 12:15 別当出合  
13:00 = 市ノ瀬 = 金沢駅 = 大阪駅

信仰の山であり花の百名山でもある白山。花のたくさん咲く時期で天気が安定している時にゆっくりと歩きたいと以前から思っていた。別当出合の吊橋を渡るといよいよ白山の登り、一時間あまりで中飯場に着く。甚之助避難小屋までは暑さと疲れで遅れ気味だったが訓練のために登ってきた石川県下の消防団の若いイケメンたちに元気をもらい、南竜道分岐から花を見ながら南竜山荘へ到着。翌日は展望コースをとる。見事なアルプス連峰や乗鞍岳、御嶽山などのパノラマにみとれているとにぎやかな神戸女学院の生徒たちが登ってきた。写真を撮りながら室堂へ到着、腹ごしらえをして荷物を隅に置き御前峰からお池めぐりへ出発。御前峰の頂上はなんとなく厳粛な雰囲気が出て登ってこれたことに感謝。お池めぐりと花の散策をしたあとはごった返す室堂へ。3日目の朝御来光が見えそうなら太鼓が鳴るというのに寝坊して太鼓は聞こえず。下山を観光新道で下って行くと登ってきた地元の人からここは危ないから登りしか使わないと言われ、どんな怖いところかと思ったら岩場が続くゆっくり下る。きたろうで何度も岩場も歩いていたので楽勝でした。

クロリ・ニコウキスガ・ミヤマキンバイ・コウリカガミ・ゴゼンチハナ・ダイモンジソウ・イキギキョウ・ハクサンコザクラ・シモツケソウ・カイトソウ・ハクサンシャジン・ハクサンフウロウ・ミツバハ 仲間等々 沢山の花を見ながら温泉にも入りゆっくりとした山行ができ感謝。

(五十嵐 記)

例会 恩地越・信貴山朝護孫子寺へ 8月31日

L 森(保)・安田・上坂 52名

鶴橋8:21発→恩地8:39着(トイレ)8:50~9:00天王の森(体操)  
9:20~10:35展望台(休憩)~11:05のどか村11:20~開運橋~  
12:00展望台(昼食)・クラブ紹介13:20~ケーブル線跡~休憩~14:  
15信貴山下駅

この1~2週間、猛暑や大雨など不安定な気候が続き心配していましたが、当日は、快晴で展望台では涼しい風に吹かれ、時間もたっぷり、ゆっくりで、大阪と奈良の田舎をのんびり堪能しました。昼食時間も休憩時間も充分だったので、久しぶりに皆さんも会話が弾み、コミュニケーションがとれて、たまにはこういう山行もいいのか? (上坂 記)

有志山行 薬師岳 他 8月1日~8月6日 L宇野 11名

8/1 森ノ宮(20:10 発)→

8/2 立山駅(6:47 発)→折立(7:40)→五光ベンチ(12:52)→太郎平小屋(14:15)

8/3 太郎平小屋(4:05 発)→薬師岳(8:25)→北薬師岳(10:18) →スコ乗越小屋(14:10)

8/4 スコ乗越小屋(4:30 発)→ スコの頭(6:50)→越中沢岳(9:05) →五色ヶ原山荘  
(13:35)

8/5 五色ヶ原山荘(6:00 発)→ 獅子岳(8:20)→室堂タミナル(13:15)→称名滝→スハ-銭湯  
→

8/6 森ノ宮(11:00 頃) ※○○発以外は全て到着時間を記載。

これまでに北アルプス登山の経験は殆どなく、会報でこの有志山行を知り胸躍らせて参加を決めた。有峰湖を眼下に見下ろしての太郎平までの登り。2日目は雲の平・槍ヶ岳・富山湾を眺め薬師岳へ到着する。ここからは北薬師岳への力強い縦走路が目飛び込んでくる。切れ落ちた鞍部を挟んで、スコ小屋の赤い屋根が木々の緑に映える。3日目も高低差の大きな険しい山道を息を切らして何とか乗り切る。五色ヶ原は山上のオアシスカ、風呂に浸かり命の水を補給し明日への英気を養う。4日目も山荘を出て、しばらく行くとザラ峠からのアップダウンを繰り返し、最後は巨

石の急傾斜道を室堂まで一気に歩く。

自分にとっては、運命共同体というカプセルにでも乗っていたような、忘れられない山行となった。

総合プロヂューサーの大姉御、交通手段を一手に引き受け、山でも常にリードをしていただいた尼崎の大親分、それにイガグリ頭が良く似合う小親分(こやぶん)さん、三人の力強く暖かいリーダーシップに感謝します。これからも裏社会だけでなく表社会、キタロウでのご活躍を期待致します。(三嶋 記)

## 有志山行 塩見岳 9月3日～9月4日 井(単独)

9月3日 鳥倉林道ゲート駐車場(7:00)晴、無風、15°C→鳥倉登山口→(11:15)

三伏峠小屋(11:35)→本谷山(13:00)→塩見小屋(15:25)(泊)曇り、14°C

9月4日 塩見小屋(5:50)13°C→(6:55)塩見岳西峰→塩見岳東峰(7:05)曇り、ガス濃、

一時晴れ→(8:10)塩見小屋(8:30)→本谷山(10:30)→(11:50)三伏峠小屋(12:05)  
→鳥倉登山口(14:25)→鳥倉林道ゲート駐車場(15:15)

鳥倉登山口～三伏峠小屋の間は、登山路に10分の1～10分の9までの到達標示板有。10分の4～10分の9までの間で、約16本のハシゴ有。上部のハシゴの方が、少し荒れ気味。

登りはともかく、下りの方が滑り気味で注意要でした。『山と高原地図2013』昭文社には、「部分的に狭く、また細い丸太の栈橋、滑るので注意」の記載有。橋下との落差は距離がないので恐怖感を感じない。

前掲地図で「丸太…注意」の近くで「危・ルンゼ注意」の記載があったが、どこの事か現地では不明だった。

前掲地図で塩見小屋～塩見岳西峰の間で「危・岩場の急坂注意」の記載があったが、ゆっくり慎重に行けば難なしでした。

初日、前日の不眠の影響か、トレーニング不足のせい、又は体力の経年劣化のせい、鳥倉登山口～三伏峠小屋の間(標高差約800m、約3時間)で、10分の9以降では、バテて、足が出ませんでした。三伏峠小屋での昼食休憩でどうにか、持ち直しました。

雨は下山時、約30分降られて、レインウェア・ザックカバーをつけました。

ヒヤリ・ハット1有。下山時、ハシゴを過ぎて直後、何故かふらつき、ストックで

バランスを取り、右側切り立った崖でびっくりストップ。よく回りを見る必要があります。注意集中後に気が抜けた時は要注意です。「注意一秒、怪我一生」  
高山で見た鳥(肉眼) イワヒバリ 2。 (井 記)

## 新入会員歓迎会・きたろう祭 くろんど園地 9月7日

担当 関・森尾・近澤 53名 (内新入会員13名)

10:10～ 京阪私駅出発～月の輪の滝～すいれんの池～くろんど園地キャンプ場

12:00～ 食事・新入会員紹介・専門部の紹介・40周年記念行事説明・レクレ

ション 15:00～ くろんど園地キャンプ場出発 16:15 京阪河内森駅付近 解散

当日は天候に恵まれ53名と言う多くの参加者のもと、多少のもたつき、ミスはあったもののなんとか無事終えることが出来ました。

これもひとえにたくさんの方々の先輩方のご協力の賜物と感謝いたします。

実行委員といっても、レクレーション以外は、会場の設営、料理、後片付け、引率等々ほとんどを先輩の方々に手伝っていただきました。本当に有難うございました。初めての担当で大変でしたが、山のクイズが良かったと声をかけて頂き嬉しかったです。

反省点としては、キャンプ場からの帰り道で帰りのコースが案内しているコースと違う、コース変更するならその旨を事前に説明するようにとのご指摘を受けました。恥ずかしながら私はコースが違うことすらわかっていませんでした。

先頭を歩いて頂いた阪上さんによると、案内しているコースは飲酒してから歩くには少し危険なところがあるので変更している。(但し、昨年、一昨年も同じコースで帰っているのが当初の案内が間違っている。来年以降も同じ場所でするなら、事前に案内を訂正しておくようにとの申し送りがありました。) (近澤 記)

## 有志山行 黒部五郎岳～三俣蓮華岳～鷲羽岳～双六岳

8月21日～8月26日 L宮田・重岡 4名

(1日目) 8/21 梅田 22:00===富山駅着 5:50 発 6:20===折立着 8:20

(2日目) 8/22 折立 8:50 発→五光岩ベンチ 12:55→太郎平小屋 14:30

(3日目) 8/23 太郎平小屋 4:50→北ノ俣岳 7:00→黒部五郎岳 11:30→

黒部五郎小屋 14:30

(4日目) 8/24 黒部五郎小屋 4:50→三俣山荘着 8:30→発 9:30→鷲羽岳→  
三俣山荘 13:30

(5日目) 8/25 三俣山荘 5:05→三俣蓮華岳 6:25→双六岳 8:05→双六小屋着  
9:00→発 9:40→わさび平小屋 14:45→新穂高温泉 16:00  
深山荘 (泊)

(6日目) 8/26 新穂高温泉 12:20===梅田 19:50

天気を心配しながらの出発だったが、2日目折立から歩き出したときは晴れわたり有峰湖を見ながら快適に歩くことができた。夜中に激しい雨と雷で、3日目朝出発のときはだいぶ心配したが2時間ほど歩くと、すっかり晴れわたり雲ノ平や薬師岳などのすばらしい景色を見ながらの歩行で、天気を期待していなかっただけに嬉しさひとしおだった。黒部五郎岳に登り一路黒部五郎小屋をめざす。4日目は朝から雨模様で合羽を着て出発した。しかし、鷲羽岳の頂上につくころには雨も上がり、槍、水晶などを見ることができた。三俣山荘の食堂からもほぼ 360 度の展望を楽しめた。5日目は三俣蓮華岳、双六岳に登りそのあとは新穂高温泉まで一気に下った。この日は1日中天気が悪く双六岳からの景色を見ることができなかつたのが残念だった。今回は日程的にもゆったりしており、天候の悪化にも十分対応できたと思う。

(塚 記)

土曜山行 入笠山・千丈ヶ岳・甲斐駒ヶ岳 9月13日～9月15日

L 入山・重岡・乾 16名

9月13日(土)森ノ宮駐輪場 07:00 発 ～ 入笠山 Gondola 乗り場 13:00 着 →  
入笠山散策 → 山頂 14:35 → 入笠山 Gondola 乗り場 16:30  
～ 仙流荘 17:00 着 (泊)

9月14日(日)仙流荘バス停 06:00 発 (登山バス) ～ 北沢峠登山口 07:13  
→ 藪沢大滝ノ頭 08:50 → 小仙丈ヶ岳 10:05 → 仙丈ヶ岳山頂  
11:35 → 昼食 11:42 から 12:45 → 馬ノ背 ヒュッテ 13:45  
→ 藪沢大滝ノ頭 14:32 → 北沢峠こもれび山荘 16:00 着 (泊)

9月15日(月)北沢峠こもれび山荘 04:00 → 仙水峠 05:36 → 駒津峰  
07:24 → 甲斐駒ヶ岳山頂 09:15 → 駒津峰 11:04 →  
双児山 11:45 → こもれび山荘 13:15 着 バス停 13:24 発  
(登山バス) ～ 仙流荘 14:10 着 (入浴) 仙流荘 15:00 発  
～ 森ノ宮駐輪場 21:10 着

- 9月13日 事故渋滞の為、入笠山到着が遅くなったのでゴンドラに乗り散策、広い山頂から八ヶ岳連峰 甲斐駒ヶ岳、中央アルプスの峰々が楽しめた。
- 9月14日 優美な姿から南アルプスの女王と言われている仙丈ヶ岳。最初は展望がない急登、小仙丈ヶ岳あたりからカール地形を眺めながらのんびり登る。仙丈ヶ岳山頂からも甲斐駒ヶ岳、北岳、などの山の展望が素晴らしかった。
- 9月15日 甲斐駒ヶ岳はむき出しの花崗岩の美しい頂き。駒津峰から甲斐駒ヶ岳頂上まで急な岩場の直登コースを選んで山頂へ。富士山、遠くは槍ヶ岳まで見える360度の大絶景に満足した。
- 下りは砂礫の急斜面登山道が削れて滑りやすい。岩場辺りで滑落した人をヘリコプターが救助 しているのに遭遇どうされたか心配だ。双児山からは樹林の急斜面をジグザグに下って北沢峠登山口に戻る。
- ひどい渋滞にも巻き込まれなく、9時過ぎに森ノ宮に到着した。全行程晴天で素晴らしい山行になった。反省点は先行のグループを気にし過ぎて下りでスピードアップしてしまった事です。 (入山 記)